

小学校 第5学年 外国語活動学習指導案

日 時 : 平成 27 年 12 月 1 日 (火)
場 所 :
対象学年 : 第 5 学 年
指 導 者 : T 1 (外国語活動担当)
T 2 (小 5 年学級担任)
A L T (中 学 校 教 諭)

1 単元名 クイズ大会をしよう (Lesson7 What' s this ?)

2 単元 (題材) について

(単元観・題材観)

本単元では、“What' s this ?”、“It' s ~.” という表現を使って、それが何かを尋ねたり答えたりするコミュニケーション活動が設定されている。“What' s this?” という相手に何かをたずねる表現は、将来外国に行った時や、外国の方と話したりする時、自分の興味ある外国の文化を理解するうえで使用できるものであり、学習したことと自分の将来とのつながりを考えさせることができる単元である。子どもたちはクイズが好きであるので、クイズを楽しみながら表現に慣れ親しませることができる。そのクイズの中では、外来語として聞き慣れている語と英語との音の違いや、英語にも同音異義語があるという日本語と英語の共通点などに気付かせ、言葉の面白さを実感させたい。また、“Hint, please.” “That' s right.” “Close.” など、これまでに慣れ親しんだ表現も自然に使いながら、自分の伝えたいことが相手に分かってもらえる楽しさを感じ、英語を使って積極的に相手とコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことをねらいとする。

(児童観)

本学級は、男子 27 名、女子 14 名と男子が圧倒的に多く明るいクラスである。男子は元気があり、積極的に声を出す児童が多く活動的な雰囲気づくりができる反面、けじめがつきにくいという面も見られる。女子は落ち着きがあり何事にも真面目に取り組めるが、積極性に物足りなさを感じることもある。

学年当初には外国語活動にあまり興味を示さなかった児童も、2 学期になり積極的に授業に参加し活動する様子が見えようようになってきている。活動と活動の間のけじめがなかなかつかない面もあるが、全体的な積極性を生かして、意欲的にコミュニケーションを取る雰囲気を大切にしていきたいと考える。

(指導観)

第 1 時ではある物の一部だけを見てそれが何か考えさせながら、楽しく英語での言い方を紹介し、英語にも同音異義語があることなど言葉の面白さに気付かせる。第 2、3 時では様々な種類のクイズを通して “What' s this?” “It' s ~.” の表現に慣れ親しませる。第 4 時ではスリーヒントクイズ大会を行って、楽しみながら積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことをねらいとする。

本時では、まずブラックボックスクイズを行う。児童代表が箱の中に入っているものが何であるかを考える。箱の中の物が何であるかを知っている周りの児童が、どんなことに気をつければ (コミュニケーションポイント)、相手にわかってもらえるかということを確認しながら、相手が答えにたどり着くようなヒントを言う。次に、前時までにペアで作成したスリーヒントクイズを行う。クイズをする前には、コミュニケーションポイントに気を付けながら練習する時間をとり、どの児童も安心して活動に参加できるようにしたい。活動後、他のペアの工夫していた点や良かった点を伝え合い、よりよいコミュニケーションの姿について考えることができるようにしたい。本時全体を通して、自分の伝えたいことが相手に伝わったり、相手が言っていることを聞くことで何かに気付いたりする喜びを感じることで、コミュニケーションの楽しさを実感できるような活動にしたい。

(他教科との関連)

◆国語「漢字の読み方と使い方」(光村図書 国語 五)

二字以上の漢字が結びついて、特別な読み方をする漢字として「向日葵」を挙げ、英語の言い

方も確認する。

3 単元目標

○外国語活動の指導目標

- ・ある物について積極的にそれが何かと尋ねたり、答えたりする。
- ・ある物が何かと尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ・日本語と英語の共通点や相違点から言葉の面白さに気付く。

○キャリア教育視点での付けたい力

- ・クイズ大会などの活動を通して、自分の伝えたいことが相手に分かってもらえる楽しさを感じる。
【人間関係形成・社会形成能力】
- ・これは何かを相手にたずねる表現は、将来外国で買い物などをするときを使用できることに気づき、今学校で学んでいることと自分の生活（将来）とのつながりを考える。
【キャリアプランニング能力】

4 単元評価規準

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

ある物について、積極的にそれが何かを尋ねたり、答えたりしている。

【外国語への慣れ親しみ】

ある物が何か尋ねたり答えたりしている。

【言語や文化に関する気付き】

様々なものの言い方から、言葉の面白さに気付いている。

5 単元指導計画（時間配分 4時間）

	● 目標 【 】 Hi, friends の活動 【L】 = Let' s Listen 【C】 = Let' s Chant 【P】 = Let' s Play 【A】 = Activity ○ その他の活動	評価				
		コ	慣	気	評価規準	評価方法
1	●様々なものの言い方から言葉の面白さに気付くとともに、身の回りの物を表す語やある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を知る。 【L】 下の絵は何か考えよう。 【P】 ポインティングゲーム 【C】 What' s this?			○	(気) 様々なものの言い方から、言葉の面白さに気付いている。	行動観察 ふり返りカードの点検
2	●身の回りの物を表す語やある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【C】 What' s this? 【A】 ①シルエットクイズ ②漢字クイズ ③パズルクイズ		○		(慣) ある物が何か尋ねたり答えたりしている。	行動観察 ふり返りカードの点検
3	●ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【C】 What' s this? ○ジェスチャークイズ ○スリーヒントクイズ ○クイズ大会をしよう（準備）		○		(慣) ある物が何か尋ねたり答えたりしている。	行動観察 ふり返りカードの点検
4	●ある物について、それが何かを積極的に尋ねたり答えたりしている。 【C】 What' s this? ○ブラックボックスクイズ	○			(コ) ある物について、積極的にそれが何かを尋ねたり答えたりしている。	行動観察 ふり返りカードの点検

○クイズ大会 ○クイズ大会を振り返る					
-----------------------	--	--	--	--	--

6 本時の学習 (4 / 4)

- (1) 本時のねらい：ある物について、それが何かを積極的に尋ねたり答えたりする。
 : クイズ大会などの活動を通して、自分の伝えたいことが相手に分かってもらえる楽しさを感じている。 【人間関係形成・社会形成能力】
- (2) 評価規準 : ある物について積極的にそれが何かを尋ねたり答えたりしている。
 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(3) 展開

過程	児童の活動	指導者 (T1・T2・ALT) の活動	・ 指導上の留意点 ◎準備物 (コ) (慣) (気) 評価規準 <評価方法> ◆他教科との関連 ☆キャリア教育視点での留意事項
挨拶	○アルファベットタイム ・アルファベットカードを A から順に並べる。 「Let' s start !」 ○始めの挨拶 (体調、天気)	T1・T2・ALT “Let' s start !” T2 “How are you ?” S “I' m fine. How are you ?” T2 “I' m fine.” S “How are you ?” ALT “I' m fine.” “How is the weather today ?” S “It' s sunny.”	・ 分からない児童のヒントになるように、アルファベットカードを黒板にはる。
導入	○P. 30 【Let' s Chant】 What' s this? ・リズムに合わせて言う。	ALT デジタル教材を聞かせる。	
展開	○ブラックボックスクイズ ・デモを見て活動を知る。 ・代表児童がボックスに手を入れ、物に触って何かを当てる。周りの児童はヒントを考え、代表児童に伝える。 ・代表児童は、ヒントを聞いて箱に入っているものを考え、答える。	T1 活動を説明する。 (T2・ALT によるデモ) T2 (代表児童役) 箱の中に手を入れる。 ALT (周りの児童役) “What' s this ?” と聞く。 T2 分かれば答える。分からなければ、“Hint, please.” という。 ALT ヒントを言う。 T2 “It' s ~.” ALT “That' s right.” または” Close.” という。 T1 代表児童を決めて前に来させる。 ・目を閉じさせている間にボックスに物を入れる。	◎ブラックボックス ◎箱の中に入れるもの

○本日のめあてを知る。	T1 本日のめあてを伝える。	
○○に気をつけ、スリーヒントクイズをしよう！！		
<p>○スリーヒントクイズ大会をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> クイズの進め方を確認する。(デモを見ながら、やり取りを確認する。) 	<p>T1 デモを見せて、やり取りを確認させる。</p> <p style="text-align: center;">(T1・T2・ALTによるデモ)</p> <p>T1 “What’s this?” T2・ALT “Hint, please.” T1 “OK. No.1 hint, an animal.” T2・ALT “It’s a ○○.” T1 “Close.” T2・ALT “Hint, please.” T1 “OK.No.2 hint, jump.” T2・ALT “It’s a ○○.” T1 “Close.” T2・ALT “Hint, please.” T1 “OK.No.3 hint, baby.” T2・ALT “It’s a kangaroo.” T1 “That’s right.” T2・ALT “Sticker, please.” T1 “Here you are.” T2・ALT “Thank you.” T1 “You are welcome.”</p> <p style="text-align: center;">※ 出題者側を交代してやる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> めあての○○に入る言葉を考えながら、デモを見るようにさせる。
<ul style="list-style-type: none"> めあての○○に入る言葉について考えたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> アイコンタクト ジェスチャー クリアボイス など 前時に作ったスリーヒントクイズの出題準備(練習)をする。 ペアで自由に教室をまわり、出題し合う。 	<p>T1 めあての○○に入る言葉について考えたことを発表させる。</p> <p>T1 ペアになりクイズの出題練習をさせる。</p> <p>T1 活動をスタートさせる。</p> <p>T1 1度活動を止めて、中間評価をした後、もう一度再開させる。</p> <p style="text-align: center;">【ねらいが達成できたか 見取るポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> はっきりした声で伝えている。 目を見て、話したり聞いたりしている。 ジェスチャーをつけて相手に伝えようとしている。 伝え合えたことをお互いに喜んでいる。 一回で伝わらない時にもう一度伝えたり聞き返したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> どんなことに気をつければ、相手にわかってもらえるか、考えさせる。 (コミュニケーションポイント) <p>◎クイズカード、シールカード、シール</p> <ul style="list-style-type: none"> クイズを出しあう際、コミュニケーションポイントを意識してクイズの出し合いができるようにする。 (コ) ある物について積極的にそれが何かを尋ねたり答えたりしようとしている。 < 行 動 観 察 > T2・ALTは全員が参加できるように支援をして回る。 <p>☆相手を意識して、分かりやすく尋ねたり答えたりさせる。</p>

	・即興でヒントを考える。	T1 答えを提示し、即興でヒントを考えさせる。	
挨拶	○ふり返しカードに記入し、発表する。 ○終わりの挨拶 “Let’ s finish .”	T1 クイズ大会をふり返り、各ペアの工夫していた点や、楽しかったことなどを書かせ、発表させる。 T1・T2・ALT 本時の児童の頑張りを伝える。 T1・T2・ALT “Let’ s finish .”	◎ふり返しカード